

5月講義レポート

囲いを学ぼう

将棋の勝率を左右するのは、鋭い攻めだけではありません。
5月のスクールでは、水曜・金曜の各クラスで
4月最終週から5週間、計10コマにわたり「囲い」を深掘りました。

「棋は対話なり」という言葉があるように、将棋は一手一手指し合って進む対話のようなものです。

自分の理想の形を一方向的に押し付けるのではなく、相手の構えや狙いに応じて、自分の囲いや攻め方は変化します。

今月の講義では、単に「囲いの形」を覚えるのではなく、「なぜ、相手がこう来た時に、この囲いを選ぶべきなのか？」という変化の根拠を、守りから攻めへの繋がりを含めて詳しく解説しました。

5月のカリキュラム

	水曜クラス		金曜クラス	
	振り飛車担当 藤倉勇樹 六段	居飛車担当 村田顕弘 六段	振り飛車担当 飯塚祐紀 八段	居飛車担当 星野良生 五段
4月4週目	振り飛車の基本編	玉を囲おう	囲い 美濃・高美濃・銀冠	居飛車の囲いに対する考え方
5月1週目	美濃囲い基本①	相居飛車の矢倉	穴熊の囲い	対振り飛車 右銀急戦
5月2週目	美濃囲い② 高美濃	相居飛車の矢倉 以外の囲い	対抗系 居飛車側の囲いと の相性	相居飛車 雁木系
5月3週目	相振り飛車 金無双編	ノーマル振り飛車 に対する囲い	相振り飛車 金無双	対振り飛車 左美濃
5月4週目	相振り飛車 美濃囲い編	角交換型振り飛車 に対する囲い	相振り飛車 美濃囲いを石田流 と組み合わせる	相居飛車 矢倉